

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス のびのび広場エミタス 笠幡教室		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 25日		2025年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日		2025年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	広い空間で、十分な活動のスペースが確保されている。	<ul style="list-style-type: none"> 全体を使って活動をしてもらう。 走り回ってしまう子もいるため、危険物や危険個所がないか確認している。 	<ul style="list-style-type: none"> 広さを生かした活動の種類を増やす。 どのような時に走り回ってしまうのか、子供の特性を理解して、身体を十分に動かせるような活動を取り入れていく。
2	事業所所有の畑があったり、大きな公園も近くにあるため、自然と触れ合える環境に恵まれていて、どの子でも楽しみながら参加できる活動を考えられる。	<ul style="list-style-type: none"> サーキットや小運動会、ダンスなど、身体を動かす活動ができる。机上のゲーム(すごろく)なども床を使い、大きな場で自らが動くことで、子供たちが参加しやすく、集中して取り組める。 活動ごとにグループ分けをしたり、どの子でも楽しめる遊具をそろえたり、作ったり、声かけも工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> 子供たちがより参加しやすく集中してできる活動を考えていく。
3	日頃から子供の状況について共通理解ができています。	<ul style="list-style-type: none"> 入所前の発育状態や面談で保護者から聞く過程での、子供の様子、保育園(幼稚園)での様子を職員間で共有している。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者がお迎えに来た際にも子供の最近の家での様子を聞いたり、エミタスでの様子を伝えるなど情報交換をし、共有していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	広いところ。	<ul style="list-style-type: none"> 全体を見きれない。 年齢の違う子供たちの衝突が防げない。 	<ul style="list-style-type: none"> パーテーションなどを設ける。
2	父母の会、保護者会、家族への支援、保護者同士、兄弟同士の交流の場が足りていない。	<ul style="list-style-type: none"> 実際にどのくらいのニーズがあるのか、どのような支援が求められているのかなど、聞き取りが十分ではない。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校などとも連携をとりながら、適切な保護者の会や、支援の機会を作って発信していく。 エミタス祭りを開催し、親や、兄弟同士が交流できる場を設けることで、連帯感を高めてもらう機会を提供する。
3	地域とのかかわりが少なく、保育園、幼稚園との交流や子ども会と活動する機会がない。	<ul style="list-style-type: none"> 活動内容に、地域と交流するような活動が含まれていない。 児童館に行くことはあるが、イベントに参加することがない。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域密着を目指し、ごみ拾いなどのボランティア活動に参加する。 近所の方に会ったら挨拶をする。 保育園や幼稚園との交流会が実現できるように、お迎えに行った時には子供のことを共有するなど、親しい間柄になるよう努める。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス のびのび広場工ミタス立橋教室

公表日 2025年 3月 10日

利用児童数 5

回収数 2

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	2	0	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	1	1	0	0		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	1	1	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	1	1	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2	0	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	1	1	0	0		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	1	1	0	0		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2	0	0	0		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	1	1	0	0		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	1	1	0	0		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2	0	0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1	0	0	0		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	2	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1	1	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	1	1	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	0	1	0		・横のつながりをもてるよう、年に二回ほど保護者との交流会を設ける ・父母の会や、夏祭りなど設ける。 参加は自由とする。
	19 子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1	1	0	0		
	20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	1	1	0	0		
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	1	1	0	0		
22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2	0	0	0			

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2	0	0	0		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2	0	0	0		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	2	0	0	0		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	2	0	0	0		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	2	0	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	1	1	0	0	とてもよくいただいています。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービスのひのび広場エミタス立橋教室				公表日 2025年 3月 10日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11	0			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	11	0			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	2	・段差や障害物が少ない。	・全盲の子が使う玩具等をそろえたりする必要がある。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11	0	・全体的に片付いた。 ・広々とした環境でよい。	・子供に使いやすく片づけやすくしていく。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	1			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	2			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	0			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	1			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	4			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	2		・日常の業務に追われ、研修の時間が取れていない。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	1			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10	1			
	13	児童発達支援計画を作成するには、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	1			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	2		・職員全員が閲覧する習慣がないため、ケース記録移入時などに確認できるようにしたい。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	1			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	1			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11	0			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11	0	・折り紙、工作などの活動がしやすい。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9	2			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	1		・送迎に追われてできないときもある。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11	0			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11	0			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	1			
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	0			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	2		・連携に関する情報が少ない。	

関係機関や保護者との連携	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	2		・あまりできていない。幼稚園から小学校に移行する児童に対する相互理解が必要。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10	1		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	8	2		
	32	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか。	3	6		・幼稚園や地域の子どもの間わりが少ない。
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11	0		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	6		・ご家族の個々の悩みに応じた支援プログラムを充実させることができるとよい。
	保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11	0	
36		児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11	0		
37		「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10	0		
38		定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11	0		
39		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	7		
40		子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11	0		
41		定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	11	0		
42		個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11	0		
43		障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11	0		
44		事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	5		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	4		・やってほしい。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	11	0		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	4		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	2		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	1		
51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11	0			

52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11	0		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10	1		・わからない。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス のびのび広場エミタス笠幡教室		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 25日		～ 2025年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	44	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日		～ 2025年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	誰でも楽しめるプログラム(工作活動、音楽活動、運動活動、外部講師を呼んでのダンス教室や科学おもちゃ教室など)を提供しているため、毎回楽しみに通所してくれたり、安心感をもって通所してもらえている。	<ul style="list-style-type: none"> 活動プログラムなどマンネリ化しないよう毎日職員のリーダーを変え、バランスよく活動をしている。 職員同士で話し合いをしてマンネリ化しないよう全員で考えて決めている。 だれでも参加できるよう、ハンデに合わせて活動を考え、盲目の児童に対し手の配慮や、レベルを変えて伝えたり、グループに分けてのプログラムを用意している。 ダンス教室や科学おもちゃ教室など外部からの指導員を招いている。 個別での支援も行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 段差はなくしてさらに安心して通所できる場所づくりをする。 今後もマンネリ化しないよう他デイの活動を見て参考にしたり、提供できるものを増やしていく。 4月より、週ごとの活動プログラムを考えるため、段階を踏んで活動していくことで、より達成感や充実感を味わえるようにしていく。
2	活動内容がSNS、ブログ、お便りを通じて明確に分かり、保護者の方にも評価をされている。	<ul style="list-style-type: none"> SNSやブログでは、個人情報使用同意書をもとに、個人情報に配慮をしている。 わかりやすく、見ていて楽しいと思うことをSNSを通じて行っている。 「この活動楽しそう」「やってみたい」「いきたい」と思ってもらえるような投稿をしていて、固くなりすぎないようにやわらかい雰囲気を投稿をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> SNS投稿の頻度を増やしていき、活動内容をもっと共有していく。
3	職員の多さや、利用者への思い、支援への意識の強さ	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの強みを生かして、力を発揮することができている。 	<ul style="list-style-type: none"> よりよい支援ができるよう、それぞれが考えて何が必要か、どのように支援をしていくか全体で話し合っていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	全盲の児童に対する支援の種類や、提供できるプログラムが少なく、専門性がない。	<ul style="list-style-type: none"> 点字の本がない。 活動のアイデアがなかなか出てこない。 地震での学習や研修の機会が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 他デイなどのプログラムをInstagramなどを見て参考にし、エミタスに合うプログラムを作成していく。 盲学校の先生と情報を共有し、興味のあるおもちゃなどをそろえていく。 研修の機会を設けていく。
2	忘れ物があることや、書類の入れ間違えが起こってしまうことがある。	<ul style="list-style-type: none"> 忘れ物がないかの最終チェックを怠っていた。 連絡袋に書いてある名前と書類の名前の確認不足 	<ul style="list-style-type: none"> 机、かご、子供が座っていた場所の付近の確認を最終チェックとして行う。 名前が一致するかを確認し、二人以上の職員でチェックをする。 保護者の方をお願いをして、連絡袋に名前を書いてもらう。
3	マットが二段重ねになっていて、段差ができてしまっている。	<ul style="list-style-type: none"> マットを2段に重ねてしまっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 段差の部分をマットで埋めたり、一度外して、マットを一つにする。 全盲の児童もいるため、バリアフリー化していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービスのびのび広場エミタス登壇教室

公表日 2025年3月11日

利用児童数 44

回収数 22

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	7	0	1	・歩きやすいスペースを確保している。 ・子供の人数が増えて今はスペースが十分なのか分かりません。	・希望者を募り実際に見てもらおう。 ・保護者会、夏祭りなどの時に見てもらおう。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	16	3	0	3	・曜日によって利用人数に差があり、時々人手不足で大変そうと感じる。	・利用曜日を固定化し、見通しを立てやすくする。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17	4	0	1	・まだ完全ではないと思うので今後必要に応じて対策してくれたら安心。 ・現在お子さんが何名いらっしゃるか分からないため、適正かどうか分からない。	・段差をなくしていく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	19	3	0	0	・目的に合わせて過ごせると思う。	・整理整頓、清掃を行っていく。
適切 な支 援の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18	1	0	3	・今後そうなってくれたらいい。 ・作業療法士が一名いてくださると嬉しいです。	・支援シートの作成及び、支援会議を随時行っていく。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19	2	0	1		
	7 こどものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	21	1	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21	1	0	0		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19	3	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19	2	0	1	・毎日楽しそうな活動で行くのが楽しく感じられている。	・週替わりのプログラムを組み、一週間で達成できたということをわかりやすくしていく。
保 護 者 へ の 説 明 等	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	10	5	3	4	・まだ行ったことがない。	・学校の校庭を借りて遊んだり、広めの公園に行く。 ・平日に児童館に行ったり、野田教室との合同活動を行う。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20	1	1	0	・覚えていません。	・欠席加算の説明を行う。 ・契約時だけでなく、ほかのタイミングも設ける。 ・質問があったら答え、わかりやすく紙面にて渡す。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	22	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	2	9	6		・面談の機会を設ける。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	19	2	0	1	・毎回活動内容等教えてくれてうれしいです。	・お便りなどを出して、今後も共有をしていく。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18	1	0	3	・まだ一度しか面談していない。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21	1	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	2	4	11	5		・父母の会、夏祭りの実施など、交流の機会をイベントなどを通しても受けていく。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	2	1	1		
20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20	2	1	1		・HUGやlineを使い、情報を共有していく。	
21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	18	2	1	1		・Instagramや、ブログを用いて、発信していく。	

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18	1	0	3		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	3	2	8		・保護者の方にもわかりやすいよう、各種マニュアルを共有する。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	5	0	8	・していると説明はうけました。	・避難訓練などを行った際に保護者の方にも共有をする。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15	4	0	3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18	2	0	1	・その状況にまだなっていない。 ・小さいけがでも対応していただき安心しています。	・今後も引き続き対応し、状況等も逐一保護者と共有をする。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	21	1	0	0	・とても楽しみに毎回している。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	22	0	0	0	・とても楽しみに毎回している。 ・毎回とても楽しみにしている。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	21	1	0	0	・時々忘れ物があるため、そこだけ帰る前に確認してもらいたい。 ・いつもお世話になりありがとうございます。 今後ともよろしく願っています。 ・送迎の際、ジュニアシートやシートベルトカバーが必要かと思います。 ・とてもよくいただいています。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービスのびのび広場エミタス笠輪教室

公表日 7年 3月 11日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11	0		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	11	0		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	3	・段差や障害物等が少ない。	・全盲の子が充実して過ごせる環境に整えてから全盲の子を受け入れるべきだったと思う。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	1	・広々とした環境は良い。 ・すっきり片付いてきている。 ・室内の見える物を減らし、子供にとって落ち着いた空間にしている。	・必要に応じて囲い(フェンス)が必要。 ・大人目線のものがまだあると思う。 ・年齢によって分けると良いときもある。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	4		・個別の部屋はあるが、まだ整備されていない。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	2	・段々とできてきている。 ・以前に比べると発言などが増えてきている。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	1		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	0	・職員の意見が日報で確認できる。 ・ミーティング。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	6		・受けているかわからない。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	9	2	・これから徐々にやっていけそう。	・日常の業務が多く研修時間が確保できていない。 ・少ない。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	1	・これから徐々にやっていけそう。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10	1	・これから徐々にやっていけそう。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	1	・一部の職員でできていると思う。 ・これから徐々にやっていけそう。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	2	・改善中。 ・共有されている。 ・これから徐々にやっていけそう。	・職員全体が把握できていないため、即座に閲覧できるようになれば良い。 ・足りない部分は補っていく。例えば個別にどう支援していくかなど。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11	0	・これから徐々にやっていけそう。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	2		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	1	・話し合いが増えてきて良いと思う。 ・リーダーを中心に決めているのですめやすい。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11	0	・活動を主導するリーダーを毎日変えている。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10	1		・集団がメイン
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	1	・必要な時に活動計画を作成し支援の内容等確認している。 ・意識できるようになってきていると思う。	・できていないことも多い。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11	0	・共有していたので助かります。	・発言は少なめ。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11	0	・日報の記録が見やすい。	
23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11	0			
24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせることで支援を行っているか。	10	1		・特に日常生活で地域とのやり取りは少ない。	

関係機関や保護者との連携	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	2	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11	0	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	2	・地域との連携に関する情報は少ない。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	11	0	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	3	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	1	・まだいない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	4	・わからない
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	7	4	・現在はない
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	6	
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11	0	
保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	6	・保護者のお困りごとをアンケートしたりして、そのニーズに対応して研修などできるとよい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11	0	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11	0	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	11	0	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	0	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	5	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	10	0	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	1	・してほしい。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0	
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	7	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	3	・これから。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	2	・やってほしい。 ・これから。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9	1	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	3	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	1	
51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	1		

52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	0		
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	1		・不明